

胸腺上皮性腫瘍に対して手術前に CT または MRI 検査を受けられた患者さんの

情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

[研究課題名] 胸腺上皮性腫瘍の発生部位の検討

[当院の研究責任者] 放射線科 古谷清美

[研究の背景]

胸腺は免疫を司る重要な臓器です。この胸腺が腫瘍化することによって胸腺上皮性腫瘍が生じますが、これは治療を要するために、迅速かつ的確な画像診断が必要です。通常は胸腺およびその腫瘍である胸腺上皮性腫瘍は前縦隔と呼ばれる心臓の前に位置しますが、時に通常とは異なる部位に生じるために診断に苦慮する場合があります。

[研究の目的]

胸腺上皮性腫瘍の患者さんの術前の CT または MRI を再検討し、その病変の発生部位を詳細に検討します。この結果によって、今後の胸腺上皮性腫瘍の患者さんの術前診断をより正確なものにすることが可能になります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胸腺上皮性腫瘍の患者さんで、西暦 2004 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 1 月 31 日の間に術前の CT または MRI を受けた患者さん

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2023 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

西暦 2004 年 01 月 01 日から西暦 2022 年 01 月 31 日までのカルテ情報を使わせていただきます。

カルテ情報：診断名、年齢、性、検査結果（術前の CT または MRI 検査、
病理組織検査。）

●情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

国立病院機構九州医療センター 放射線科 古谷清美

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)